大学

グローバル・コミュニケーション学部
グローバル・コミュニケーション学科
Study Abroad
MOLDEN Danny T. 教授

海外の大学で学び、多様な文化に触れて地球市民として英語力や国際感覚を磨く。

All Englishの環境のもと、高度な英語対話力と幅広い国際教養を身につけるグローバル・コミュニケーション学科。1年次に短期集中・反復型のFEP(First-year English Program)で英語力を着実に伸ばした上で、2年次に学生全員が挑むのが、6～10週間の海外留学「Study Abroad」です。アメリカ、カナダ、オーストラリア、ベトナムの6大学のいずれかを選択し、専門分野を英語で学びます。各大学のプログラムを受講するだけでなく、現地学生との交流やフィールドトリップ、ホームステイなども実施。多様な文化や価値観に触れながら英語力を高めるとともに、地球市民としての国際感覚、主体的に学ぶ姿勢、チャレンジする力を養います。担当教員のモルデン先生は「海外で視野を広げ、自分自身と向き合い、より深めたい専門分野や将来の進路について考えるきっかけにしてほしい」と学生の成長に期待を寄せています。「Study Abroad」参加学生には留学費用として一律40万円が大学から補助されます。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

高等学校

愛知淑徳高等学校
英語
宮島 彩 教諭

広い世界への架け橋となる英語力とグローバルな視野を、楽しみながら養う。

英語の語彙力や読解力、運用能力を養い、「大学受験に通用する英語力」にとどまらず「国際人として使える英語力」の育成をめざす愛知淑徳。宮島彩先生が担当する高校1年生の授業では、ペアワークを基本とし、新出単語・文法をトレーニング形式で学ぶほか、シャドーイングによりネイティブスピーカーの発音や話し方を習得します。「広い世界を知り、多様な国・地域の人と交流する、そのツールとなるのが英語です。生徒には楽しく英語力を身につけてほしいと願っています」と語る先生。今年度の夏季休暇にオーストラリアで英語教授法を深め、各国の多様なバックグラウンドの人々との交流も楽しむなど、英語教員として研鑽を重ねています。その生き生きとした姿が、生徒の向上心を刺激。宮島彩先生は中3と高1・2で参加できる海外研修のさらなる充実を計画するなど、生徒が視野を広げて楽しめる英語学習を追求しています。

